

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	十二指腸狭窄を有する切除不能膵腺癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除方法に関する多施設共同後ろ向き観察研究
	研究目的	中等度以上 (GOOSS $\leq$ 1) の十二指腸狭窄症状を有する切除不能初発膵腺癌に対して十二指腸狭窄解除方法が予後にあたえる影響を明らかにする。
	研究対象者	十二指腸狭窄解除術の処置を 2014 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日までに実施した、切除不能な膵原発の腺癌 (UICC stage 、 ) で、初診時 80 歳以下、膵癌に対する積極的抗癌剤治療の既往のない患者
	研究期間	西 暦 2019 年 6 月 12 日 ~ 西 暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科 肝胆膵 医長 小林 智
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器内科 肝胆膵
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	千葉県がんセンター 消化器内科 石井 浩 松山赤十字病院 肝臓・胆のう・膵臓内科 畦元 信明 (事務局)